

# 平成維新を実現する都民の会 第13回 運営会議議事録

※敬称略（記録文責：杉原健児）

〔日時〕1996年7月2日（火）18：40～21：50。〔会場〕新宿リサイクルセンター4階。

〔出席〕浅見勇喜知・阿部悠逸・井上小夜子・江頭清昌・小田武史・小俣一郎・梶原光恵・神村知行・河登一郎・小枝 尚・近藤珠甲・佐藤鶴次郎・澤井正治・塩浜 修・清水一也・杉原健児・長瀬正彦・萩野谷敏明・長谷川文昭・治田桂四郎・望月忠雄・山本竜司、以上23名。

〔配付資料〕

- 1) 活動経過と活動予定（杉原）
- 2) 1995年度会計報告・会計監査報告／1996年度予算案（神村）
- 3) 会員拡大目標と実績（治田）
- 4) 各種案内→7月6日：5区例会／7月6日：市区議リーグ／7月6日：さきがけ練馬一周年記念講演会／7月10日：第3回市民フォーラム準備委員会／7月11日：大衆運動推進委員会／7月14日：第2回会員総会／7月15日：首都圏道フォーラム21（治田）
- 5) 都民の会会則／会則改定案／改定私案の骨子（阿部）
- 6) 都民の会（平成維新・東京）会則改定案（浅見）
- 7) 第2回大衆運動推進委員会（6/11）議事録（小枝）
- 8) 第3回市民運動フォーラム実行委員会募集のお願い（梶原）
- 9) 伊藤達也パンフレット／伊藤達也アピール＋入会案内兼用街頭配付用ビラ（杉原）

〔回覧資料〕

- 1) いしん埼玉市民の会会報／千葉会報／維新プレス KANAGAWA（杉原）
- 2) 全国活動情報ネット（杉原←林冬彦よりFAX送付）
- 3) 会則改定案→改定案への意見→返事／現行会則→同解説／昨年総会の討論（杉原）
- 4) 都民の会総会の件（杉原←山崎

FAX）5) 平成維新・議員クラブの主旨（萩野谷）

〔議事〕（司会：杉原）

1. 江頭代表の挨拶があった。
2. 「前回議事録」の確認：4. 【6】一新塾→塩浜塾、と訂正して承認された。
3. 出席者全員による、氏名・居住地等の簡単な「自己紹介」があった。
4. 下記事項について討議の結果、以下の事項が「確認」「決定」された。
  - 【1】「会員名簿管理作業」を、塩浜塾卒の現在大学生の荒井新一郎氏（川口市在住）に、お願いすることとした。DBソフトの経験がないが、阿部氏が指導する。
  - 【2】上記に関して、塩浜氏が「会員名簿管理委員長」として対応することを決めた。
  - 【3】治田会員拡大委員長より、1995年11月7日現在 231名の会員数が1996年6月30日現在 331名と目標334名をほぼ達成した旨報告があり、1996年7月～1997年6月の「会員拡大目標」を500名とし、これを各区で積み上げ、7月14日の会員総会で公表したい旨の提案があった。協議の結果、会員拡大に余力を注ぐことはいかがなものか等の反論があり、会員拡大目標数は正式には掲げないこととした。
  - 【4】萩野谷氏より「平成維新・議員クラブ」を結成し、首都4団体共通の事務局置きたいので、東京も参加して欲しい旨の提案があった。協議の結果、内容に不詳な点もあるので、塩浜・長瀬氏がオブザーバーとして参加し様子を見守ることとした。
  - 【5】杉原代表補佐委員長より、前回江頭代表あずかりとなった「会報発行体制」につき、取りあえず9月1日号について、8月15日締切りで版下を複数人で担当する提案があり討議した。ページ数を減らす／年4回

発行とする／一番大切なことはイベント情報を期限内に合わせることである／休刊しても良い／今の会報は面白くない／会報は質を落としても毎月発行すべき、等の意見が出された。協議の結果、9月号について、声を掛けられた人は協力することを前提に、杉原が引き受けることとした。「10月号以降の発行体制」については、次回運営会議で決めることとした。

【6】山崎会員総会準備委員長より、次期代表立候補者は「江頭清昌」「近藤珠甲」氏の2人で、6月28日（金）立候補者受け付けを締め切った旨報告があった。

【7】山崎氏より、7月14日の「会員総会」で「代表選出」に入る前に、「2～3ヵ月掛けて、会の改革を行い、その後改めて代表選出を行いたい」（以下、山崎動議）との「緊急動議」を出したいとの提案があった。臭いものに蓋の現状のやり方に不満がある／中央集権的である／代表の会の方向性が見えない／路線対立があり改革の趣旨には賛同／代表は皆と同じ目線にいた積もりである／現在の委員会制度で競争しながら重点委員会を育てて行くことに賛成／頭を取り替えねば改革出来ないのか／組織のまとめ方に1) トップが旗を振る2) 皆に自由にやらせるとあるが、代表はファジーの方が良い／会報で代表立候補を公募し立候補者も名乗りを上げた以上、それを変えることは全くのルール違反であり反対である、などの意見が交わされた。結局、この「山崎動議」を総会に出すかどうかを、運営会議で決めるかどうかの議決を行った結果、賛成14反対3で運営会議で議決することになった。次に、「山崎動議」を総会に提案するかどうかの議決を行った結果、賛成12反対7で「山崎動議」